

## 令和 5 年 第 1 回定例会一般質問

| 順序 | 氏 名   | 質 問 事 項            | 質 問 要 旨  | 答 弁 者 |
|----|-------|--------------------|--|-------|
| 1  | 斎 藤 實 | 1. マイナンバーカード制度について | <p>2022 年 6 月より、マイナポイントの付与最大 2 万円のポイントが貰える。公金受取口座指定、健康保険証の紐づけである。</p> <p>2024 年度以降は、原則、紙等の健康保険証は廃止される方針であり、廃止後は、マイナンバーカード（マイナ保険証）に一本化される方向である。</p> <p>このようなことから、次の 4 点について伺う。</p> <p>(1) 個人情報漏えいのリスクが心配されるが、個人情報管理の対策は。</p> <p>(2) マイナンバーカード、マイナ保険証の普及率は。</p> <p>(3) 町内病院の対応は、どのようになっているか。</p> <p>(4) 高額な医療費が発生する場合、限度額適用認定証の書類申請手続きは、どのようになるのか。</p> | 町 長   |

| 順序 | 氏名    | 質問事項            | 質問要旨   | 答弁者 |
|----|-------|-----------------|--|-----|
| 2  | 横田喜世志 | 1. 出雲町団地住宅について  | <p>昨年、軒先が損傷した団地に「屋根の雪庇処理について(お願い)」の文書が配布されている。</p> <p>自力で処理もしくは業者に依頼するように書かれている。入居している方々は高齢であったり、収入が少ない等で入居している。自力で処理、業者に依頼等、論外な話ではないか。</p> <p>そもそも町が大家である町営住宅について、屋根からの雪降ろし、雪の重みによる軒先損傷、雪の落下による窓ガラスの破損は、町が費用負担をして責任を負うべきではないか伺う。</p>                | 町長  |
|    |       | 2. 会計年度任用職員の処遇は | <p>日本自治体労働組合総連合は、2022年5月から9月にかけてアンケートをとっている。</p> <p>2万2,401人の回答結果から女性の割合が85.7%にもなり「ジェンダー」と「正規・非正規」による賃金格差を助長し「同一労働・同一賃金」を妨げていることが浮き彫りとなったとしている。</p> <p>八雲町の会計年度任用職員の経験や資格が求められるような専門性及び持続性の高い業務に任用されている職員は「同一労働・同一賃金」とすべきだし、正規雇用とするべきだと思うが、いかがか。</p> | 町長  |

| 順序 | 氏名   | 質問事項  | 質問要旨  | 答弁者                 |
|----|------|---|---|---------------------|
| 3  | 赤井睦美 | <p>1. 産業振興の行方は？</p> <p>2. 今までの仕組みでは対応できないのでは？</p> | <p>(1) 町として水産業の活性化を図るため、サーモン養殖やウニ、コンブ、アワビの養殖に力を入れています。また、農業振興の一つとして、ブドウ栽培を行いワイン作りを目指しています。</p> <p>今は実験という形で町が資金を出して行っていますが、これら5つの実験はいつまで続き、どこがゴールになるのでしょうか？</p> <p>また、この実験の成果をしっかりと引き継いで継続していく団体や個人は育っているのでしょうか？</p> <p>(2) 研修牧場の開設により、研修生はもちろん、ヘルパー的な役割も担ってもらえると期待していましたが、今のところ、そのような様子は見えていません。この冬は農家の方のケガや病気が多く、ヘルパー不足で大変だと聞いています。どんなことも簡単に進むとは思いませんが、多額な出資をした以上、少しでもその成果を町民に感じてもらうことは必要だと思います。出資の目的に対する成果と課題についてお伺いします。</p> <p>人口減少の今、喫緊の課題の一つとして、働き手不足があります。各企業はもちろん、役場でも職員不足が起こっていると聞きます。町の人口は減っても、行政の仕事は逆に増えるばかりで、今のままでは、残業を続けても追いつかないどころか、職員全体が疲弊してしまい、ミスが起きやすい職場になっていくのではないのでしょうか？</p> <p>業務委託等を含め、機構改革など職員数が足りなくても対応できる仕組みを早急に考えなければならないと思いますが、町長のお考えをお伺いします。</p> | <p>町長</p> <p>町長</p> |

| 順序 | 氏名   | 質問事項                               | 質問要旨  | 答弁者 |
|----|------|------------------------------------|---|-----|
| 4  | 三澤公雄 | 1. 八雲には活断層がある！ということを前提に防災を考えているのか？ | <p>町内には改定されたハザードマップが配られている。これは、東北北部沖や道東沖を震源地とする巨大地震による津波を想定に加えたために改定された。</p> <p>八雲町のある渡島半島はプレートの運動により、すさまじい力で東西に圧縮を受け、地震のたびに断層を作り、両側の岩盤が食い違っていき、今の地形が出来上がったということが定説なようです。（2022年11月、令和4年度八雲学講座第2回、北海道総合地質学研究センター、アースサイエンス株式会社、加藤孝幸氏）</p> <p>それを踏まえるなら、町内にある断層の存在に、もっと注意を払うべきではないだろうか？これまで町民の安全を守り、安心感を抱いてもらうための防災行政において、“活断層”の存在は軽んじられてきたのではないか？という疑念を持つ。</p> <p>東北大学の災害科学国際研究所の遠田晋次教授は、朝日新聞の取材に「活断層は線ではなく、幅を持ったゾーンとしてとらえる必要がある！」と述べられています。</p> <p>活断層に注目すべき！と考えるが、町長の考えはいかがか？</p> | 町長  |

| 順序 | 氏名   | 質問事項               | 質問要旨  | 答弁者 |
|----|------|--------------------|---|-----|
| 5  | 佐藤智子 | 1. 補聴器助成で認知機能低下を抑制 | <p>昨年の6月の定例会にも同様の質問をした。そのときの町側の答弁は「補聴器が認知症の発症を軽減させる可能性があることは報告されているが、実際に認知症の予防に効果があるという結論には至っていない」ので「既存の制度を利用していただきたい」というものだった。</p> <p>国立長寿医療研究センター耳鼻咽喉科の杉浦彩子氏らの論文は、中等度難聴を有していた40歳から79歳の407人を対象に追跡研究し、「中等度難聴のある高齢者では、補聴器の使用が一般的知識の低下に対する保護効果をもたらす可能性がある」と結論付けている。</p> <p>この論文から読み取れることは、補聴器が認知症を予防するというのではなく、難聴の方の認知機能の低下を抑制し、社会生活を助けるということである。高齢化で進む老化を抑える効果が明らかであれば、医療や介護にかかる経費の抑制にもつながる。</p> <p>高齢者の元気のために補聴器の助成をすべきではないか。</p> | 町長  |
|    |      | 2. 患者満足度調査を        | <p>よりよい医療を行っていくには、患者さんの声を聞く必要があるのではないか。</p> <p>八雲総合病院の理念・経営方針には「地域の皆さんから信頼され、満足される医療を提供する」とうたわれている。これをめざすためにも、患者満足度調査をすべきと思うがどうか。</p>   | 町長  |

